



アジア・オセアニア高校生フォーラム分科会にて発表

7月26日(月)～28日(水)にアジア・オセアニア高校生フォーラムが開催されました。アジア・オセアニアフォーラムは、和歌山県内外の高校生とアジア・オセアニアの国や地域の高校生が、共に世界共通の課題についての意見交



森井さん

換・プレゼンテーション・文化紹介等を通じ、グローバル社会で活躍できるリーダーを育成することを目的に、平成27年度より実施しています。本校からは、2年普通科理系の宮山和日葉さんと2年環境科学科の森井優斗さんがオンラインで参加し、宮山さんは食糧問題について、森井さんは環境問題について、分科会にて発表を行いました。



宮山さん

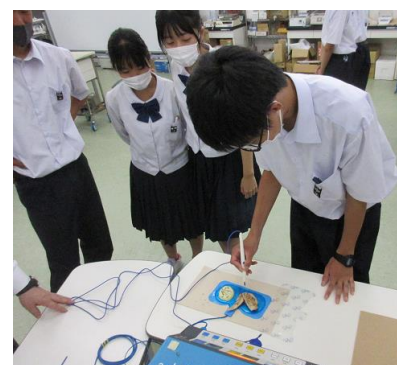


1年生環境科学科 研究室訪問(近大・生物理工)

7月15日(木)、1年生環境科学科生徒を対象としたSSH研究室訪問で近畿大学生物理工学部を訪れました。近畿大学生物理工学部は、例えば、理学単独の学問領域だけではなく、理学と工学の両方にまたがる学問領域や、工学と農学と医学等複数の学問分野が融合した学問領域等について研究しています。

近畿大学生物理工学部に着後、大学の概要についての説明を受け、その後は、5グループに分かれて、それぞれ2つの学科の研究室を訪れました。食品安全工学科では、家畜に与える餌を工夫することによる、家畜の肉質の変化を研究していました。実際に育てた家畜の冷凍肉を見せていただきました。医用工学科では、人工心肺装置や人工透析で使われる医用器具を実際に見せていただきました。また、電気メスで鶏肉片を実際に切ったり、実習用の採血教具を使った採血体験をさせていただきました。

初めての研究室訪問を終えて、生徒たちは次のような感想を述べています。「大学に対して、教育機関だけでなく研究機関でもあるという認識がより強くなった。」「大学では本当に様々なことを学べると知れた。勉強意欲が増した。」「進路の範囲を決めてしまっていたけれど、他の見方や考え方を知ることができていい経験になりました。」「私は将来医療関係の大学に行くことも考えていたので、電気メスや注射器を



実際に使わせてもらえたことはとてもよかったです。」「あまり知らない、これまで興味がなかったような事も新しく知れて、それについての興味や関心が増しました。」

大学を実際に訪れ、見学することで、高校卒業後の一つの選択肢を体感できたことは、日頃の勉強のモチベーションの向上にもつながったようです。これからも、様々なことに興味を持ち、多くのことを学んで、自らの進路を自ら切り拓いていってほしいと思います。

